

進行管理・実施状況評価の考え方

(1) 目的

本町においては、男女共同参画社会基本法に基づく市町村男女共同参画計画として、令和3年3月に「第5次さむかわ男女共同参画プラン」を制定した。

また、本計画は、寒川町総合計画「さむかわ2040プラン」に基づく分野別の基本計画の一つでもある。

第5次計画は、令和3年度から令和6年度を計画期間とする本町のあらゆる分野にわたる計画であり、その推進に当たっては、全庁的な取り組みを必要とする。

各事業にわたる計画の進捗状況を確実に把握し、その評価を行うことにより、計画の実効性を確保し、男女共同参画社会の実現に向けた諸施策を推進

(2) 評価の対象及び方法等

【評価の対象】

①事業実施担当課が実施する各事業の評価

各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、町民窓口課（令和3年度から）において、その実施状況ととりまとめ、さむかわ男女共同参画プラン推進協議会（以下「推進協議会」という。）に報告し、意見を伺う。

②基本目標の評価

第5次さむかわ男女共同参画プランで定める4つの基本目標の評価は、各事業の評価内容を踏まえ、推進協議会において実施する。

推進協議会では、各基本目標が計画期間の中でどの程度進んでいるのか、遅れている部分についてはどのようにして進めるべきかなどについて、総合的な広い観点から評価するものとする。

なお、この基本目標の評価結果は次期計画の策定に関し重要な参考資料とする。

【評価の方法】

1. 進行管理表（別紙）により、各事業ごとに、事業実施担当課が自己評価を行い、さむかわ男女共同参画プラン連絡会（以下「連絡会」という。）に報告し、推進協議会へ最終報告を行う。

2. 事業の実施状況及びその評価内容について、町民に公表する。

【各事業の評価基準】

事業実施担当課が、目標の「達成度」、「今後の方向性」について自己評価を行う。判定区分は下記のとおり。

【目標の達成度】

- A：目標達成
- B：概ね目標達成
- C：目標に向け事業が遅れている
- D：目標に向け事業がほとんど進んでいない

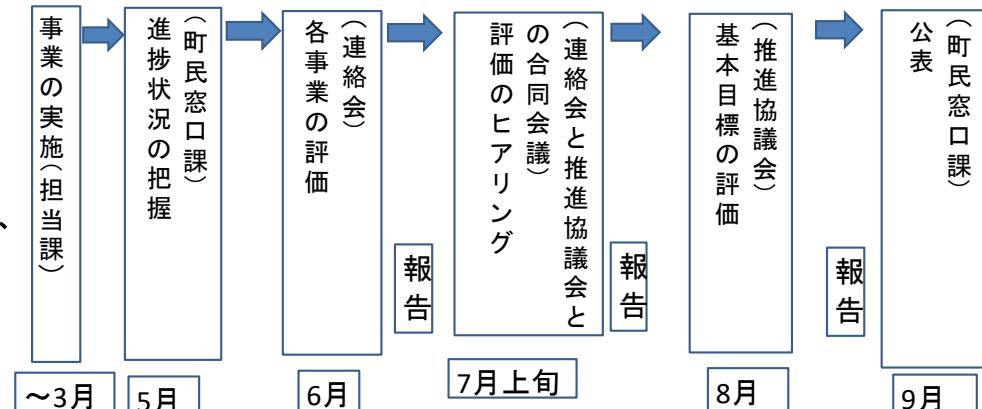
→【目標の達成度】についての考え方

- A：目標値に達している
- B：目標値に対し80%以上の実績値
- C：目標値に対し80%未満の実績値

【今後の方向性】

1. 更に充実強化していく
2. 計画どおり取り組む
3. 一部見直しが必要
4. 事業の休止または廃止

進行管理・評価の流れ



<基本目標Ⅰ あらゆる分野での女性の活躍推進>

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の促進

施策の内容(1) 事業所等への女性登用の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
1	管理職への女性登用の推進		20	20	20	20	管理職の登用には能力と実績に基づき任用されることが基本だが、女性職員の比率は年度によりばらつきが大きく、管理職登用段階の女性割合が低い傾向にある。	B	仕事と家庭を両立させるという面で難しさを感じている職員もいることから、子育て、介護などの休業制について周知を図った。	人事課
	事業所としての町の取り組みとして、能力や意欲のある女性の管理職への登用を推進します。	管理職の職員数における女性の割合(%)	18					2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
2	勤労者実態調査の実施				40					産業振興課
	町内事業所に勤務する労働者の実態を明らかにし、労働行政の基礎資料とすることを目的に3年毎に実施し、その結果を事業所に周知します。	調査票の回収率(%)	-	-	-	-				

施策の基本的方向 1. 政策や方針決定過程などへの女性の参画の推進

施策の内容(2) 町審議会などへの女性委員の登用

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
3	女性委員登用の推進		26	28	30	32	<p>地方自治法(第202条の3)に基づく審議会等の女性の登用状況 該当する審議会等数 29 総委員数 333名 うち女性委員数 91名 女性委員比率 27.3%</p> <p>公募委員の選考に当たっては、男女比に配慮して女性委員の登用を進めているが、委員の選出を団体や組織に依頼するケースが多く、その団体や組織の特性から女性が少ないといった個別の状況もある。また、職を指定している場合に、その職に女性が就いていないことも多い。</p> <p>前年度(令和3年度26%)より女性委員の割合が増えているが、次年度の目標値に向け、引き続き選出方法の工夫・選出団体への女性登用の意識づけに取り組む必要がある。</p>	A	<p>前年度(令和2年度26%)より登用率が増加し、目標達成した。引き続き、各種審議会等を所管する担当課に対し、委員改選時には女性委員の登用についてご配慮いただくよう通知した。</p>	町民窓口課
	町審議会などの職指定委員の見直しを図り、女性委員の登用をより一層推進します。	町審議会の女性委員の登用率(%)	27					2		

施策の内容（3）住民活動などにおける女性の活躍促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
4	女性の活躍のための講座の開催		100	100	100	100	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。	A	①②の出席者数の合計が、135人であったため。 男女共同参画白書(令和3年版)によると、コロナ禍においてはテレワークによって女性が働きやすくなる可能性があると言われている半面、1日の時間の使い方について、男性の仕事時間が減少した分、育児時間が増加し、男性の育児参加が進んだように見えている。しかしながら、女性の育児時間も同様に増加しており、家事時間について変化が無いことから、女性が男性の2倍以上、家事及び育児をしている傾向はコロナ前後で変わらないとの報告もある。 共働き世帯が増加する中で、固定的性別役割分担の解消とワーク・ライフ・バランスの必要性が求められている。コロナ禍において感染防止対策のためにオンラインによる講演会を開催し、住民の意識醸成に努めることができた。	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダー育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)	135				<p>①2市1町男女共同参画特別講演会 『女性のウェルビーイングって何だろう』 日時:令和4年3月1日(火)～3月13日(日) YouTubeによる動画配信 参加者104人(内訳:男性26人、女性73人、その他1名、無回答4名) 講師:永田 潤子氏 (大阪市立大学教授、女性初の海上保安官) 内容:女性が活躍できる社会になれば、男性のワーク・ライフ・バランスを変えていくことができます。本当に暮らしやすい社会について、一緒に考えてみませんか?をテーマに講師自らの経験に基づき、ご講演いただいた。ウェルビーイングを通じて、人々が何かをあきらめず、誰もが幸せであり可能性を広げることができる社会を創造する大切さを参加者に伝えることができた。</p> <p>②男女共同参画推進講演会 「社会が変わる、私も変わる —誰もが暮らしやすい時代を目指して—」 日時:令和4年1月22日(月)～2月21日(月) YouTubeによる動画配信 参加者:31名(男性11名、女性20名) 講師:柘島 洋美氏(横浜国立大学 副学長) 内容:データや講師自らの経験をもとに「男だから」「女だから」という固定的な役割分担意識のアンコンシャスバイアスにとらわれない考え方をすることにより、自分自身、そして社会全体が変化していくことへの講演をいただいた。昭和から平成、令和と移り変わる中、女性・男性の役割分担がどのように変化していくか、データなどを用い参加者に伝えることができた。また、配信日初日はライブ配信により質疑が2件あり、録画配信にはない講師が直接回答を行うことができた。</p>			

施策の基本的方向 2. 働きたい、働き続けたい女性の支援
 施策の内容(1) 女性の人材育成の充実

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
5	女性の活躍のための講座の開催 (再掲)		100	100	100	100	<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>①2市1町男女共同参画特別講演会 『女性のウェルビーイングって何だろう』 日時:令和4年3月1日(火)～3月13日(日) YouTubeによる動画配信 参加者104人(内訳:男性26人、女性73人、その他1名、無回答4名) 講師:永田 潤子氏 (大阪市立大学教授、女性初の海上保安官) 内容:女性が活躍できる社会になれば、男性のワーク・ライフ・バランスを変えていくことができます。本当に暮らしやすい社会について、一緒に考えてみませんか?をテーマに講師自らの経験に基づき、ご講演いただいた。ウェルビーイングを通じて、人々が何かをあきらめず、誰もが幸せであり可能性を広げることができる社会を創造する大切さを参加者に伝えることができた。</p>	A	<p>①②の出席者数の合計が、135人であったため。</p> <p>男女共同参画白書(令和3年版)によると、コロナ禍においてはテレワークによって女性が働きやすくなる可能性があると言われている半面、1日の時間の使い方について、男性の仕事時間が減少した分、育児時間が増加し、男性の育児参加が進んだように見えている。しかしながら、女性の育児時間も同様に増加しており、家事時間について変化が無いことから、女性が男性の2倍以上、家事及び育児をしている傾向はコロナ前後で変わらないとの報告もある。</p> <p>共働き世帯が増加する中で、固定的性別役割分担の解消とワーク・ライフ・バランスの必要性が求められている。コロナ禍において感染防止対策のためにオンラインによる講演会を開催し、住民の意識醸成に努めることができた。</p>	町民窓口課
	女性の活躍促進のための講座を開催し、女性リーダーの育成や住民活動等への参画を促進します。また、町以外で開催される講座等について情報提供します。	講座の参加人数(人)	135				<p>②男女共同参画推進講演会 「社会が変わる、私も変わる —誰もが暮らしやすい時代を目指して—」 日時:令和4年1月22日(月)～2月21日(月) YouTubeによる動画配信 参加者:31名(男性11名、女性20名) 講師:椛島 洋美氏(横浜国立大学 副学長) 内容:データや講師自らの経験をもとに「男だから」「女だから」という固定的な役割分担意識のアンコンシャスバイアスにとらわれない考え方をすることにより、自分自身、そして社会全体が変化していくことへの講演をいただいた。昭和から平成、令和と移り変わる中、女性・男性の役割分担がどのように変化していくか、データなどを用い参加者に伝えることができた。また、配信日初日はライブ配信により質疑が2件あり、録画配信にはない講師が直接回答を行うことができた。</p>	2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
6	就労支援講座の開催	講座の開催回数(回)	3	3	3	3	<p>「神奈川県かながわ労働センター」より共催申請のあった「ワーキングマザー両立応援カウンセリング」を全10回行った。 対象者の相談実績人数：13人</p> <p>「湘南合同就職面接会」1月21日開催。 参加企業数16社、求人件数43件、求人数81名、面接延数84人、採用者数12人、不採用者数66人、説明のみ6人</p> <p>その他、県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができた。</p> <p>今後も、各団体が実施する就労支援講座についても積極的に協力し、周知を図っていく必要がある。</p>	A	県等の他団体と協力して就労支援講座等を実践することができたため。	産業振興課
	県や関係機関と共催し、就労支援のための講座を開催します。		3					2		

施策の内容（２）女性の積極的な社会参画に関する情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
7	男女共同参画に関する講座の情報提供		4	4	4	4	男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座について情報提供できた。 ①2市1町男女共同参画特別講演会 「女性のウェルビーイングって何だろう」 日時:令和4年3月1日(火)～3月13日(日) ②「社会が変わる、私も変わる、－誰もが暮らしやすい時代を目指して－」 日時:令和4年1月22日(土)～2月21日(月) ○2市1町広域連携事業2件 ・共に生きるフォーラムふじさわ2021「男が働かない、いいじゃないか！」ほか	A	講演会等の情報を広く集め提供するため、広報さむかわや町のホームページを活用した。	町民窓口課
	町内外で開催される、資格取得やスキルアップのための講座について情報提供します。	広報紙、ホームページ等での情報提供回数(回)	4					2		

施策の内容（２）女性の積極的な社会参画のための情報提供

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
8	求人に関する情報提供		30	30	30	30	ハローワーク藤沢、鎌倉市、藤沢市、茅ヶ崎市と合同で湘南合同就職面接会を開催した。 ・日時:令和4年1月21日(金) ・場所:藤沢商工会館ミナパーク 町単独での面接会の実施は難しいため、ハローワークや近隣市と連携及び町内での周知が必要。 参加企業数16社、求人情数43件、求人数81名、面接延数84人、採用者数12人、不採用者数66人、説明のみ6人 参加事業者 ・藤沢市8社 ・茅ヶ崎市4社 ・鎌倉市3社 ・寒川町1社 総数16社 参加求職者数 ・藤沢市42人 ・茅ヶ崎市17人 ・鎌倉市8人 ・寒川町2人 その他8人 総数77人	C	コロナウイルスの影響もあり、密を避けるため、参加企業数を減らしての開催となった。寒川町内の参加企業は1社のみ。 感染状況等も考慮し、開催の仕方を検討する。	産業振興課
	役場ロビーにハローワークの求人検索のための検索端末等を設置し、情報提供に努めます。また、合同面接会等でも求人情報を提供します。	湘南合同就職面接会で求人情報を提供できた企業数(社)	16					1		

【基本目標Ⅰ】
推進協議会評価（個別）

【基本目標Ⅰ】あらゆる分野での男女共同参画の推進

＜各事業等について＞

・事業3女性委員登用の推進

審議会委員の改選時に各担当課が女性委員の登用について配慮していただくように通知していただいたことに評価します。本来なら男女が同数になることを目標とすべきです。現在の状況から考えれば少しずつ目標値を上げていくべきだと考えます。

・事業4女性の活躍のための講座の開催

YouTubeによる動画配信など直接参加できなくても参加できる仕組みに取り組みられたことを評価します。その結果目標を超える参加者となりました。

・事業4,5女性の活躍のための講座開催

講座参加人数の各市町村の人数別もわかると良い

・事業番号4,5

講座を積極的におこなっている点は、とても良いと思った。女性だけではなく男性の参加もあり、この調子で男性により男女共同参画への興味・関心を持ってもらえるような取り組みをしていけたら良いと考えた。

・事業4,5

なかなか、女性が管理職等につくことが難しい。家庭と仕事の両立の難しさがあると思います。少しでもパーセンテージが上がるようにしてほしいので、スキルアップの講座を、興味のわく講座をのぞみます。

・事業4,5,6女性活躍のための講座の開催について、就労支援の講座の開催について

4,5,6は2市1町の広域連携事業や神奈川県など広域での協力開催であったため、町内での参加人数の割合がはっきりしないため目標値に達しているというだけでの評価では寒川町としての評価にはならないと思う。

・事業6

講座の回数を目標値にしているため講座を開催するだけで良いのかという疑問も残る。就労支援という点では、参加する人の必要とする支援がどのようなのかを、データをもとに分析し、それに添ったものになっているかという評価も必要ではないか。町内で参加している割合も出して、評価した方がよいと思う。

男性に男女共同参画への興味・関心を持ってもらえるよう、男性への講座を開くのもいいのではないのでしょうか。

・事業8求人に関する情報提供

コロナの影響で実績数、評価が低くなっている。現在仕事を求めている子育て世帯の女性も多く開催方法や周知について再考していただければと思います。

＜基本目標Ⅰの総評＞

・参加者人数を指標とする事業は、「現状」で男女の内訳も示されていてよいと思いました。また、今後の推進に向けては、参加者の年代をつかんでおくことも必要なのではないかと思いました。

・昨今さまざまな休業制度が充実してきました。性別に関係なく、共同参画していく社会形成に、意識が高まっている現れだと思います。これからも労働者の権利として、さまざまな制度を職員に周知徹底していくことが求められます。

しかし、制度は充実してきたものの、それらを行使することがなかなかできないのが現状のようです。「制度」はあるのではなく、「行使」してはじめて効果を発揮します。さまざまな制度に合わせた職場環境の見直し等が並行して行われるべきだと考えます。

要するに目標値が達成できない裏側には職場の様子から「制度」を使うことができないために、管理職にならない(なりたくてもなれない)実態もあるのではないのでしょうか。

・参加割合で出すのか、人数で出すのか、回数で出すのか評価に違いがあり、評価しにくい形になっている。すべて回数、参加人数、男女比、寒川町民の割合で出したらもっと評価しやすいものになると思う。

【基本目標Ⅰ】
推進協議会評価
(事務局案)

＜各事業について＞

- ・(事業3:女性委員登用の推進)審議会委員の改選時に各担当課が女性委員の登用について配慮するように通知したことを評価する。しかし、本来なら男女が同数となることを目標とするべきであり、現在の状況から考えれば少しずつ目標値を上げるべきである。
- ・(事業4, 5:女性の活躍のための講座の開催)YouTubeを利用した動画配信にすることで、直接参加できなくても参加できるよう取り組みをしたことを評価する。家庭と仕事の両立が難しい、管理職等につくことが難しい現状なので女性のスキルアップ講座の実施をしていただきたい。
- ・(事業6:就労支援講座の開催)就労支援を強化するために、参加する人が必要とする支援はどのようなものかを分析し評価する必要がある。

＜基本目標Ⅰの総評＞

- ・参加人数を指標とする事業は男女の内訳を示しているところはよいと思う。さらに参加者の年代も把握することも検討していただきたい。
- ・参加割合、参加人数、開催回数等の指標で評価しているが、統一した方が評価しやすいため指標の見直しをされたい。
- ・講座やイベントなどは寒川町民の方々の参加も重要になるが、その割合がわからない。そのため目標値に達しているというだけでは寒川町としての評価にはならないのではないかと。

<基本目標Ⅱ 男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶>

施策の基本的方向 1. 異性に対する暴力防止の対策

施策の内容(1) 配偶者などからの暴力防止に関する意識啓発と被害者への支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
9	暴力防止に関する意識啓発		4	4	4	4	<p>○引き続きホームページへの掲載を行った。なお、令和3年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は 227件。</p> <p>○2市1町広域連携のなかで、デートDVの防止に向けた啓発チラシを作成し、寒川高校、関係団体及び成人式での配布を行った。(チラシ1,000部)</p> <p>○図書館において、DVに関するパネル展示を行った。(11月10日～11月30日)</p> <p>○窓口や公共施設のトイレにチラシ等を置き、相談窓口の情報提供を行った。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。</p> <p>○今後も様々な機会を捉え、情報提供を行っていけるよう検討していく。</p>	A	<p>ホームページへの掲載を継続し、生理用品配布時にDV相談等に関するチラシ配布することで、周知を図ることができたため。</p>	町民窓口課
	広報紙等を通じてDVに関する情報発信を行い、暴力防止に関する意識啓発を行います。	啓発回数(回)	4					2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
10	DV等に関する相談や関係機関との連携		12	12	12	12	<p>○関係機関との連絡会議(1月26日)1回</p> <p>○関係機関との定期的な情報交換11回</p> <p>町で相談を受けた際は、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と連携を取り、相談にあたっている。また、平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所で受けた相談であっても、各種手続きで来庁される場合など、連絡を取り合って対応している。今後も適宜、情報提供できるよう努めていく。</p> <p>町のDV相談受付件数:3件</p>	A	<p>平塚保健福祉事務所茅ヶ崎支所と定期的に情報交換を行うなど、スムーズな連携が取れているため。</p>	町民窓口課
	関係機関と連携しながらDV等に関する相談を受けるとともに、緊急一時保護事業に関する協定に基づき、DV被害者の緊急一時保護に向けた支援を行います。	関係機関との情報交換機会回数(回)	12					2		

施策の内容（２）各種ハラスメント防止対策の推進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
11	町役場における各種ハラスメント防止体制の充実		1	1	1	1	採用3～4年の職員を対象にメンタルヘルス研修を実施した。 ストレスを知り、その対処法及びストレス対処力を高めるコミュニケーションを学んだ。 研修名「メンタルヘルス研修」 研修日時：令和3年12月7日 参加人数：28名	A	啓発や研修により、ハラスメントが発生しないような職場環境づくりに努めた。	人事課
	町職員間における各種ハラスメントの根絶に向けて、相談しやすい職場の雰囲気づくりや周知を行い、相談体制の充実を図ります。		1					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
12	各種ハラスメント防止に関する啓発や各種相談窓口の情報提供		2	2	2	2	引き続きホームページへの掲載を行った。なお、令和3年度における町ホームページ訪問数(庁舎外・庁舎内を合わせた数)は 124件。相談者には相談窓口の情報提供を行った。 今後、より有意義な情報提供をどのように実施していくのかを検討していく。 ○新型コロナウイルス感染症での影響など様々な事情により、経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に、防災備蓄用の生理用品を無償で配布。(令和3年8月2日～)生理用品配布の際に、女性相談、DV相談等に関するチラシを併せて配布した。	A	ホームページへの掲載を継続し、生理用品配布時に女性相談等に関するチラシを配布することで、周知を図ることができたため。	町民窓口課
	広報紙などを活用し、各種ハラスメント防止に関する啓発や関係機関における各種相談窓口の情報提供を行います。		2					2		

施策の基本的方向 2. 人権尊重のための対策

施策の内容 (1) 人権侵害防止のための支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
13	各種相談の実施や人権に関する情報提供		4	4	4	4	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止として、人との接触を避けるため、街頭での人権啓発活動は中止となった。	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、中止となったため。	町民窓口課
	人権相談など各種相談を実施し、関係機関との連携を図ります。また、人権に関する様々な情報提供を行うとともに、街頭での啓発活動などを通じて町民への意識啓発を行います。	街頭での人権啓発活動回数(回)	0					2		

施策の基本的方向 3. 生涯を通じた心身の健康づくりの充実

施策の内容 (1) 男女の心とからだの健康づくりへの支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
14	健康運動ボランティア地域活動支援		45	45	45	45	健康づくり体操の日は新型コロナウイルス感染症予防のため実施出来なかった。 地域活動に関しても新型コロナウイルス感染症予防のため実施出来なかった。	D	評価については、新型コロナウイルス感染症予防のためやむ負えず実施出来なかったため。 今後の方向性については、令和4年度より感染予防対策を図り、健康づくり体操の日を再開する予定のため。また令和4年4月から、高齢者施設の体操指導依頼があり、実施予定になっているため。	健康づくり課
	地域の実情やライフステージに合わせた健康づくりとして、町民が自主的に健康づくりや生活習慣病予防や健康維持・増進に取り組む機会の場を提供することで、健康づくりにおいて重要な要素となる町民のつながりの維持を図ります。		0					2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
15	公民館講座（健康づくり講座）の開催		3	3	3	3	【町民センター】健康長寿で悔いのない人生を！、1月13日(木)19人参加／体にやさしい体操教室、3月2日(水)13人参加 【北部公民館】健康体操&輪踊り、10月16日(土)17人／シニアクラス(ニュースポーツ)10月16日(土)13人／バドミントン教室、1月15日(土)、8人参加 【南部公民館】腸もみダイエット、4月20日(火)5人参加／バドミントン初心者講習会、5月～7月、28人参加／血液循環簡単マッサージ講座、11月19・26日(金)、10人参加	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館講座は中止、延期したものもあったが、目標値に達することはできた。	教育政策課
	公民館講座を通じて健康に対する意識付けを図るなど、町民の健康づくりを支援します。		8					2		

施策の内容（２）性に関する正しい知識と普及啓発

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
16	新成人への健康教育の実施		1	1	1	1	新型コロナウイルス感染拡大予防により配布物を削減していたため、配布を見送った。	D	評価については、令和2年度に続き、配布物の削減により配布を見送ったため。今後の方向性については、令和4年度は、事業担当課と調整し栄養、喫煙の影響等について周知する予定。	健康づくり課
	新成人へのパンフレット配布による健康教育を実施します。	小冊子の配布回数(回)	0					2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
17	豊かな心・文化育成事業		10	10	10	10	町内小・中学校において、新学習指導要領に基づいて、保健体育科や特別の教科 道徳科などの各教科、総合的な学習の時間等を通じて、性に関する内容を取り扱い、適切に指導を図った。 性教育に関しては、正確な理解を通して適切な行動に結びつくことから、今後も子どもの発達段階に応じて、教育活動の機会を捉えて適宜指導することが必要である。	A	町立小・中学校において、子どもたちの発達段階や実態に応じて性教育に関する指導を行った。特にデリケートな内容については、男女を分けて指導したり、養護教諭等と連携して対応したりすることにより、個の事情に応じた指導につなげている。	学校教育課
	教科や道徳の時間、総合的な学習の時間等を通して、性教育を推進します。	性教育実施時間数(時間)	10					2		

【基本目標Ⅱ】男女の人権の尊重と異性に対する暴力の根絶

・事業9

経済的な理由で生理用品を購入することが難しい方に無償で配布されたことを評価します。その時に女性相談、DV相談に関するチラシを配布できたことは声をあげることができない方に届けられたと思います。

・啓発活動の結果どのくらいの年齢の方々が、どのくらい暴力で困っているのを見える化したら良いと思う。例えば相談が〇件あったとか。コロナが長引いている分、より見えにくくなっていると思うので、暴力の根絶を掲げているのであれば、評価の仕方も違う方向から行えると思う。

○事業17

・町内小中学校における性教育の取り扱い、指導に関しては、とても重要なことだと捉えます。性教育に関して正確な理解を得られるよう、今後も引き続き指導していくことが求められると考えます。

・デリケートな内容については、男女を分けた指導とありましたが、発達段階に応じては「男女ともに」一人の人間と捉え、お互いを尊重しあえる場を設定した指導もあり得るのかなと考えました。

・もうすでに実施している学校もあるかと思いますが、各校で指導ができる体制づくりに向けて、声をかけてもらえるといいのかなと思います。

・性教育(保健体育)の重要性を訴えるリーフレットやパンフレットなど、発達段階に応じた資料を児童生徒に配布できると、各校での指導の足掛かりになるのかなと思います。

【基本目標Ⅱ】
推進協議会評価
(個別)

メンタルヘルスの研修を行うことは、とても大切なことであると思うが、メンタルヘルス研修とハラスメントの防止はどこで結びつきがあるのか、疑問に感じた。

・事業11

メンタルヘルスの研修を行うことは、とても大切なことであると思うが、メンタルヘルス研修とハラスメントの防止はどこで結びつきがあるのか、疑問に感じた。

・引き続き異性に対する暴力の啓発を行うことと、ハラスメントの防止を行ってほしい。

事業15

健康づくりのために、地域の公民館を利用した講座を行う点は、大変良いと感じた。産後の妊婦さんのための健康講座があるのもとても良いと感じた。

・親子、男女間の問題は大変難しいものです。

・広報誌等で啓発する事しかないのかと思います。計画どおりをお願いいたします。

<総評について>

・これからも健康づくりのための講座や地域活動を町民に参加してもらうためにも、情報の発信を多くしていければ良いと考えた。

・今後も目標を多角的に捉え、異性人権に対する意識向上につなげていただきたいと思います。

・事業の評価がすべて回数で揃っているのが評価しやすくなっていると思う。

・ただ啓発活動など回数を目標としていて評価がよかったと喜んでもらえないと思う。

・冊子などの配布の代わりにアプリで動画や漫画を使って配布するなどの対応はいかがでしょうか。

・各校の教職員向けの専門性を高める研修なども開催できると良いかと思います。

【基本目標Ⅱ】
推進協議会評価
(事務局案)

<各事業について>

・(事業9:暴力に関する意識啓発)生理用品の無償配布をする際、女性相談、DV相談のチラシを配ることで声をあげることができない方への支援につながると考える。啓発の結果、どのくらいの年齢の方々が暴力で困っているのかを見える化してほしい。(相談件数の集計等)

・(事業15:公民館講座(健康づくり講座)の開催)健康づくりのために、地域の公民館を利用した講座を行う点は大変評価できる。産後の妊婦さんのための健康講座の検討をしていただきたい。

・(事業17:豊かな心・文化育成事業)デリケートな内容については男女を分けた指導とあるが、発達段階に応じてお互いを尊重しあえる場を設定した指導も必要だと考える。また、性教育(保健体育)の重要性を訴える資料を発達段階に応じて児童生徒に配布できると各校での指導の足掛かりになると考える。

<基本目標Ⅱの総評>

・事業の指標がすべて回数でそろっているため評価しやすい。

・啓発活動の回数を指標にしているので評価だけを見て良いと判断しづらい。

・各校の職員向けの専門性を高める研修なども開催して欲しい。

・引き続き異性に対する暴力の啓発、ハラスメントの防止を行ってほしい。

・これからも健康づくりのための講座や地域活動を町民に参加してもらうため、情報の発信を多くしていただきたい。

・今後も目標を多角的にとらえ、異性人権に対する意識向上につなげていただきたい。

<基本目標Ⅲ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）推進のための環境づくり>

施策の基本的方向 1. 誰もが働きやすい就業環境づくり

施策の内容（1）ワーク・ライフ・バランスについての理解促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
18	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	広報等による周知を行うことで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からのチラシ・パンフレットを町内事業所に対して配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数(回)	3					2		

施策の内容（2）女性の就業・雇用環境改善のための支援の充実

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
19	労働相談に関する情報提供		3	3	3	3	県や各関係機関が実施する各事業や相談先について、町の広報紙等で情報提供を行った。	A	広報紙への掲載、HP等による周知やチラシの配架により情報提供を行った。 次年度以降も、必要な情報を精査した上で、HP等に掲載をしていく必要がある。	産業振興課
	広報紙やホームページ等で労働相談窓口などの情報提供を行うとともに、相談内容に応じて関係機関を紹介するなど、労働相談に関する情報提供を行います。また、関係機関と協力し労働者向けに労働に関する相談会を実施します。※雇用情勢により実施しない場合もあります。	広報紙・ホームページ等での情報提供回数(回)	6					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
20	労働講座の開催		1	1	1	1	コロナウイルスの影響で開催なし。	D	感染状況等も考慮し、開催の仕方を検討する。	産業振興課
	関係機関と協力し、労働環境の改善に関する講座を開催します。	開催回数 (回)	0					3		

施策の内容(3) 育児・介護に関する制度の理解と普及の促進

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
21	育児休業取得の促進		100	100	100	100	対象であった消防職の職員は勤務体制や職務の状況により育児休業を取得するものはいなかった。 配偶者が出産した男性職員:13名(うち、消防職員は5名) 育児休業を取得した男性職員:4名(取得日数:21日、56日、92日、184日) なお、配偶者が出産した男性職員13名の特別休暇の取得状況は次のとおり。 出産付添いの特別休暇(3日以内):6名(各2~3日) 育児参加のための休暇(5日以内):6名(各1~5日)	C	対象となる職員に対して育児に伴う休暇休業についての制度の周知を図っている。	人事課
	町職員が男女ともに育児休業を取得しやすい環境を整備し、子育ての支援を図ります。	男性職員の育児休業取得率 (%)	31					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
22	介護休業取得の促進		1	1	1	1	家族の介護等を行う職員からの制度等の相談について制度周知を図るとともに、詳細について説明を行っている。	A	対象となる職員に対して介護に伴う休暇休業についての制度の周知を図っている。	人事課
	町職員が男女ともに介護休業を取得しやすい環境を整備し、介護への支援を図ります。	庁内での啓発回数(回)	1					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
23	ワーク・ライフ・バランスに関する企業への啓発(再掲)		3	3	3	3	国や県から提供された情報をホームページ、広報、窓口による周知等により、町内事業者に対する啓発を図った。	A	広報等による周知を行うことで町内事業者に対する啓発を図ることができたため。	産業振興課
	国や県からチラシ・パンフレットを町内事業所に対し配布し、制度の周知や普及の促進を図ります。	企業への啓発回数(回)	3					2		

施策の基本的方向 2. 仕事と家庭・地域活動との両立の支援
 施策の内容(1) 子育て・ひとり親家庭への支援

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
24	保育環境充実事業		120	120	120	120	認可保育所等に通常保育事業の実施を委託し、併せて事業に対して助成を行った。 既存の施設の大規模改修に対して国庫補助金を活用し補助金を交付することにより、保育環境を整えることができた。 令和4年4月開園予定の認定こども園の園舎建て替えに対して国庫補助金を活用し補助金を交付することにより、事業者において認定こども園化の準備を進めることができた。	B	既存の認可保育所が面積要件や保育士配置基準を満たしたうえで、定員以上の受入をしている。保育の必要性のある児童を認可保育所等において保育することで保護者の就労支援を行うことができた。	子育て支援課
	認可保育所や認可外保育施設、私立幼稚園に給付費や補助金を支出することにより、保育所の設備及び運営基準の維持、事業の充実を図ります。	定員に対する入所率(%)	101					2		
事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
25	子育て支援相談事業		100	100	100	100	相談日:月から金 9:00~16:00 相談件数 458件 課題等:育児不安を抱える家庭は増加の傾向にあり、相談内容も多岐に渡り、複雑化・長期化の傾向がある。 相談件数の減は、令和3年3月末に子育て支援相談員1名が退職した影響と考える。令和3年6月から1名を任用し、状況は改善している。	A	他機関との連携を含む継続フォローや支援等、悩みを抱える子育て家庭へのサポートを行い、養育者の負担軽減を図った。 相談に対しては、全数対応できた。	子育て支援課
	子育て全般についての相談指導と育児情報の提供を行います。	相談への対応率(%)	100					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
26	児童クラブ運営事業		270	301	309	315	開所日292日 自宅で保育を受けることができない児童を受け入れることにより、保護者の就労や女性の社会進出を支援する。各児童クラブの運営負担を軽減するため寒川学童保育会に一括して運営委託を行った。	B	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えて、児童の健全な育成を図ることができた。	学び推進課
	保護者が労働等により放課後等家庭にいない児童に、適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を推進します。	入所児童数 (人)	247					1		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
27	ひとり親家庭等医療費助成事業		100	100	100	100	ひとり親家庭等医療費助成事業の該当者に対し、窓口等において周知するとともに、助成対象者に対する助成を実施した。 R3助成対象者数:831人 (参考) 児童扶養手当非受給世帯及び人数 H29:29世帯(85人) H30:23世帯(56人) R1 :21世帯(49人) R2 :17世帯(38人) R3 :17世帯(39人)	A	離婚や死亡、転入転居等の手続きの機会に窓口や電話で説明・周知を行っている。その後の世帯や所得の状況の変化により申請しないケースがあると思われるが、該当者への周知や助成対象者への助成は実施できている。	子育て支援課
	ひとり親家庭等の人が病院等を受診したときに支払う医療費のうち、保険診療分の自己負担額を助成します(所得制限有り)。	助成率 (%)						100		

施策の内容（２）男性の家事・育児・介護などへの参加の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
28	父親・母親教室の開催		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。 延べ妊婦142人 夫69人参加。 各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ95%であった。 参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は、 H29年度23.8% H30年度25.1% R元年度27.4% R2年度28.9% R3年度32.7% となっている。 夫(パートナー)の割合が増えているものの、参加者自体がコロナ禍で減っている。	B	感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女が協力して家事や育児を行うことについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度(%)	94					2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
29	母子訪問指導事業		1,000	1,000	1,000	1,000	令和3年度は、通常の訪問に加え、新型コロナウイルス感染症の影響で、集団健康診査を希望されない家庭への家庭訪問など実施した。 その際に、テレワーク等により在宅している夫(パートナー)が昨年に比べ多く、可能であれば夫等を含め相談や指導を実施した。	A	母子健康手帳交付時にもイクメンテキストを配布し、父親の育児参加を促している。産後の訪問についても妊娠中や出産後に父親に直接周知することで、訪問の受け入れも良好である。訪問時には男性の育児参加への意識啓発も実施している。	子育て支援課
	乳幼児を育てている家庭を訪問し、育児状況の確認や子どもと養育者の心身の健康づくりへの助言等と併せて、男性の育児参加への意識啓発を行います。	母子訪問合計件数(件)	1,443					2		

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
30	介護教室の開催		105	105	105	105	○家族介護教室 ※まん延防止等重点措置の観点より中止。 ○認知症高齢者介護教室(認知症サポーターステップアップ講座) 住民向け(2日間コース:11月20日20人、11月29日21人参加) 団体向け(1日間コース:7月4日20人参加)	C	○家族介護教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため、開催に大きな影響があった。 開催方法など、取り組み方は今後の課題となる。 ○認知症高齢者介護教室(認知症サポーターステップアップ講座) 住民向けの2日間コースのみの開催予定だったが、団体の方から依頼があり1団体20名に向けて開催することができた。 今後も団体からご希望があれば開催していきたい。	高齢介護課
	介護技術・対応方法を習得するための講習会の開催を通じて、男女がともに介護を担うことの意識啓発を図ります。	講座の参加人数(人)	61					1		

施策の内容(3) 地域活動への参加の促進

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値		今後の方向性		
			実績	実績	実績	実績				
31	公民館講座(男性向け講座)の開催		3	3	3	3	【北部公民館】 シニアクラス①ニュースポーツ、10月16日(土)、13人参加/シニアクラス②かご作り、11月6日(土)、12人参加/シニアクラス③防災講座、11月20日(土)、21日(日)、16人	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、シニアクラスを2講座中止したのもあったが、目標値に達することはできた。	教育政策課
	公民館講座を通じて、男性の地域活動への参加に対する意識づけを促進します。	講座の開催回数(回)	3					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
32	ファミリーサポートセンター事業		1,720	1,690	1,680	1,660	3年度末の会員数については、おねがい会員606人、まかせて会員133人、どっちも会員122人であった。 課題等:おねがい会員数に対し、まかせて会員数が少ない。今後はおねがい会員からまかせて会員やどっちも会員に登録していただける会員を増やしていくことや、事業内容の周知に引き続き取り組んでいく必要がある。	A	活動件数は目標値を達成した。前年度比約117%で増となった理由は、保育園の送り・迎え、学童保育の迎えなどの利用が増えたことによるもの。	子育て支援課
	育児の援助を受けたい人を行う人が会員となって一時預かり等の事業を行うことにより、育児世代の地域活動への参加を支援します。	活動件数 (件)	2,964					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
33	生涯学習に関する情報提供		6	6	6	6	男女を問わず、生涯学習に関する情報を提供した。 1.さむかわ町民大学(年2回発行) 2.出前講座 3.4.生涯学習人材登録制度「ステップアップ」メニュー紹介/登録者募集用 5.さむかわ生涯学習総合案内 ○町ホームページの関連ページ訪問数は、579件	A	パンフレットや情報紙を発行し、町内各施設に配架するとともに、町ホームページにおいても掲載することで、幅広い世代に対して生涯学習に関する情報提供を行うことができた。	学び推進課
	さむかわ町民大学、出前講座、生涯学習人材登録等の学習情報を提供し、地域活動への参加を支援します。	広報紙、ホームページ、パンフレットでの啓発回数 (回)	6					2		

<p>【基本目標Ⅲ】 推進協議会評価 (個別)</p>	<p>【基本目標Ⅲ】仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進のための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業24 10月の協議会では目標値や実績、評価について質問が出されたかと思いますが、説明がなければ分かりづらい部分ではありました。また、この事業は施策の推進にとっても大切な事業ですが、基準をクリアしていても定員以上の受け容れという状況との「ことでしたので、該当園との連携をし、しっかり現状把握をしていただきたいと思います。 ・事業24 目標値を120%としていることが問題だと思えます。入所したい人が全員入所できれば評価はAです。評価の考え方を検討してください。 事業28 参加者の満足度を100%でなければA評価にならない評価の仕方に課題があると思えます。何%以上だったらA評価とする。など評価の方法を検討してください。94%だったらA評価だと思えます。 ・事業25 相談件数の減についてコロナ感染対策により引き続き人数制限、予約制であることも相談件数に出ていると思われそうです。 ・事業24 目標値は100%で良いと思う。実際は120%を受け入れられるのかも知れないが、120%受け入れるためには保育士の確保等違った要因も加わってくると思う。保育園の職員の充足率などで評価が必要なのかも知れない。 ・事業21 配偶者が出産した際の男性職員の育児休暇取得率の目標値を100%に設定すると、達成することは難しいのではないのでしょうか。100%に設定するという事は「必ず取得してくれよ」と感じることもできます。職務の状況や本人の意思なども含めると、目標値の設定を見直されても良いのかなと感じました。(男性も100%取得すること→善??なのではないでしょうか) ・事業24 120%が数値目標となっています。要するに、定員以上の受け入れ(つまりMax)をしなければ、目標達成にはなりません。逆に120%を超える数値はあり得ないこととなります。つまり、目標達成には120%(ジャスト)しかありません。(たしか120%オーバーはだめですね?)目標値の見直しをしてはいかがでしょうか。 ・事業25 相談件数458件に対し、すべて対応してきたということはすごいことだと思います。今年の出生率は過去最低ペースといわれています。そんな中、育児不安を抱える家庭の相談窓口として心強い事業だと思います。 ・事業32 事業25と同様にすばらしい事業内容だと思います。今後間口を広げるとさらなる利用があるのではないのでしょうか。 ・計画どおりをお願いいたします。 <基本目標Ⅲに対する総評について> ・継続的な関わりが必要な内容でもあるので、該当機関、連絡機関と連携しながら推進をお願いしたいと思います。 ・冊子などの配布の代わりにアプリで動画や漫画を使って配布するなどはいかがでしょうか。 ・Bの評価が多いため、Aの評価にしていけると良いと感じた。
	<p><各事業について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(事業21、22: 育児休業取得の促進、介護休業取得の促進)労働者の権利を守るため、さまざまな制度を職員に周知徹底していくことが求められる。しかし制度は充実しても行使できない現状であるため職場環境の見直し等を並行して行ってほしい。 ・(事業24: 保育園環境充実事業)評価指標が定員に対する入所率となっており、120%が設定されている。目標は100%ではないのか。評価の見直しをしていただきたい。 ・(事業25: 子育て支援相談事業)相談件数458件に対し、すべて対応したことについて評価する。件数の減は新型コロナウイルス感染症対策の関係で人数制限を行っているためと考えられる。

【基本目標Ⅲ】
推進協議会評価
(事務局案)

- ・(事業28:父親・母親教室の開催)参加者の満足度を100%でなければA評価にならない評価の仕方に課題があると思われる。「何%以上だとA評価とする」など評価の方法を検討してください。
 - ・(事業32:ファミリーサポートセンター事業)事業内容を評価する。今後間口を広げるとさらなる利用があるのではないか。
- ＜基本目標Ⅲの総評＞
- ・B評価が多くA評価にするための改善を行ってほしい。
 - ・啓発等に関しては冊子などの代わりにアプリで動画や漫画を使うことも検討してほしい。
 - ・継続的なかわりが必要な内容もあるので、該当機関、連絡機関と連携してほしい。

<基本目標Ⅳ 男女共同参画社会への理解促進>

施策の基本的方向 1. さまざまな場における意識づくりの推進

施策の内容(1) 職場や地域における意識啓発

事業番号	事業名		3年度	4年度	5年度	6年度	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	目標値	目標値	目標値	目標値				
			実績	実績	実績	実績				
34	男女共同参画に関する講座の開催		100	100	100	100	<p>男女共同参画推進の講座として、神奈川県、藤沢市及び茅ヶ崎市と連携した講座を開催した。</p> <p>① 2市1町男女共同参画特別講演会 『女性のウェルビーイングって何だろう』 日時：令和4年3月1日(火)～3月13日(日) YouTubeによる動画配信 参加者104人(内訳：男性26人、女性73人、その他1名、無回答4名) 講師：永田潤子氏 (大阪市立大学教授、女性初の海上保安官) 内容：女性が活躍できる社会になれば、男性のワーク・ライフ・バランスを変えていくことができます。本当に暮らしやすい社会について、一緒に考えてみませんか?をテーマに講師自らの経験に基づき、ご講演いただいた。ウェルビーイングを通じて、人々が何かをあきらめず、誰もが幸せであり可能性を広げることができる社会を創造する大切さを参加者に伝えることができた。</p> <p>② 男女共同参画推進講演会 「社会が変わる、私も変わる —誰もが暮らしやすい時代を目指して—」 日時：令和4年1月22日(月)～2月21日(月) YouTubeによる動画配信 参加者：31名(男性11名、女性20名) 講師：梶島洋美氏(横浜国立大学 副学長) 内容：データや講師自らの経験をもとに「男だから」「女だから」という固定的な役割分担意識のアンコンシャスバイアスにとらわれない考え方をすることにより、自分自身、そして社会全体が変化していくことへの講演をいただいた。昭和から平成、令和と移り変わる中、女性・男性の役割分担がどのように変化していくか、データなどを用い参加者に伝えることができた。また、配信日初日はライブ配信により質疑が2件あり、録画配信にはない講師が直接回答を行うことができた。</p>	A	<p>①②の出席者数の合が、135人であったため。</p> <p>男女共同参画白書(令和3年版)によると、コロナ禍においてはテレワークによって女性が働きやすくなる可能性があると言われている反面、1日の時間の使い方について、男性の仕事時間が減少した分、育児時間が増加し、男性の育児参加が進んだように見えている。しかしながら、女性の育児時間も同様に増加しており、家事時間について変化が無いことから、女性が男性の2倍以上、家事及び育児をしている傾向はコロナ前後で変わらないとの報告もある。共働き世帯が増加する中で、固定的性別役割分担の解消とワーク・ライフ・バランスの必要性が求められている。コロナ禍において感染防止対策のためにオンラインによる講演会を開催し、住民の意識醸成に努めることができた。</p>	町民窓口課
	事業所向けまたは生活に密着した視点から男女共同参画に関する講座を開催し、職場や地域における男女共同参画への意識啓発を図ります。									

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
35	人権教育推進事業		2	2	2	2	【町民センター】 人権講座、6月12日(土)、16人参加 【総合図書館】 バリアフリー映画会、11月21日(日)、10人参加	A	計画通り目標値に達することはできた。	教育政策課
	人権教育講演会等の講座、講演会を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数(回)	2					2		

施策の内容(2) 家庭における意識啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の 方向性		
36	父親・母親教室の開催(再掲)		100	100	100	100	計画通り5コースを開催した。 延べ妊婦142人 夫69人参加。 各コース4日目の日曜日は、妊婦とパートナー2人での参加はおおよそ95%であった。 参加延べ人数(妊婦+夫)に対する夫(パートナー)の割合は、 H29年度23.8% H30年度25.1% R元年度27.4% R2年度28.9% R3年度32.7% となっている。	B	感染防止対策をとりながら、計画どおり教室を開催できた	子育て支援課
	妊婦とそのパートナーを対象にした、妊娠・出産・育児や家庭づくり等についての講座の開催を通じて、男女がお互いを理解し尊重することについて意識啓発を図ります。	参加者の満足度(%)	94					2		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
37	家庭教育講座等開催事業		4	4	4	4	【町民センター】 赤ちゃんとママの防災講座、10月27日(水)、24人参加 ／ママとベビーのふれあい体操、11月25日(木)、29日(月)、18人参加 【南部公民館】 親子でクラフト教室、5月14日(金)10人参加、7月2日(金)7人参加、10月8日(金)10人参加、12月10日(金)18人参加／親子でミニリトミック体験、7月9日(金)10人参加／親子でリトミックを楽しみましょう、11月10日(水)、17日(水)、46人参加	A	公民館講座として、乳幼児親子が参加できる講座を実施。好評を得た。家庭教育支援の機会として、講座開催のほか、北部公民館では「親子サロン」、南部公民館では「ほっとオアシス」として乳幼児親子に施設開放を行い、幼児期から公民館に親しみきっかけづくりとした。	教育政策課
	家庭教育講座等を開催して、男女共同参画の意識啓発など社会教育の機会を提供します。	講座の開催回数(回)	5					1		

施策の内容(3) 学校等における意識啓発

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
38	教職員の資質向上事業		230	230	230	230	○教職員研修会(5/25(延期)、7/5、8/24(中止)、8/27(中止)2/14(R4年度に延期)全4回、56名)及び教育講演会(7/27 中止)において、人権感覚や男女共同参画に配慮した授業づくりや教育課題に向けての研修を行い、教職員の意識を高めた。「新型コロナウイルス感染の県内におけるまん延防止・取組方針」を受け、1,3,4回目の研修会は中止及び延期とした。また開催できた2回目の研修会も規模を縮小して行った。4年度も状況によっては中止になる研修会等が出てくる可能性が高いが、オンライン開催なども視野に入れて考えていく。 ・研修会・教育講演会参加男女比 29:27	C	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、教職員研修会を1回しか行うことができなかった。しかし開催できた1回に関しては充実した講演内容の研修会を行うことができた。	学校教育課
	教職員向け講演会や研修会等を開催し、児童・生徒への人権を配慮した教育の充実を図ります。	研修会等への参加者数(人)	56					1		

事業番号	事業名		3年度 目標値	4年度 目標値	5年度 目標値	6年度 目標値	現状と課題 (令和3年度)	評価	評価の理由 (令和3年度)	担当課
	事業内容	指標	実績	実績	実績	実績		今後の方向性		
39	中学生人権作文コンテストの実施		150	150	150	150	人権作文コンテストについては、夏休みの宿題で選択制となっている。そのため、増減数については予想することが難しい。	C	目標を達成することができなかった。次年度も教頭会等で人権作文コンテストの周知を図っていく。	町民窓口課
	関係機関と連携して人権作文コンテストを実施し、人権に対する生徒の意識啓発を図ります。	作文の応募者数(人)	99					2		
【基本目標Ⅳ】 推進協議会評価 (個別)	<p>【基本目標Ⅳ】男女共同参画社会への理解促進 <各事業について> ・事業38 新柄コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、教職員向けの研修等が中止になったことは非常に残念です。今後は、オンラインによる実施なども含めて、開催していただけるとありがたいです。 ・事業38 教職員の資質向上とあるが学校等における意識啓発とするならば学校における研修会だけでなく生徒向けの講座など生徒や保護者をまき込んだ講座の開催などで良いと思う。教職員だけを対象とすると人数も限られてしまうし啓発活動とするならば、生徒、保護者をまき込んだ講座、講演等の開催回数などでも評価できるのではないかと。 <総評について> ・幅広い年齢層に関わる事業だと思えます。柔軟な視点から目的を見直して、コロナ禍にあっても、収束しても様々な人が理解を深められるような方策を検討していただきたいと思えます。 ・冊子などの配布の代わりにアプリで動画や漫画を使って配布するなどの対応はいかがでしょうか。 ・コロナが始まって3年、大変だと思えますが少しでもよりよい生活を送るために皆様いろいろと考えられていると思えます。 ・大変な努力をされていると思えます。</p>									
【基本目標Ⅳ】 推進協議会評価 (事務局案)	<p><各事業について> ・(事業38:教職員の資質向上事業)新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、教職員向けの研修等が中止になったことは非常に残念である。今後はオンラインによる実施なども含めて検討する必要がある。 ・(事業38:教職員の資質向上事業)教職員の資質向上とあるが学校等における意識啓発とするならば学校における研修会だけでなく生徒向けの講座など生徒や保護者をまき込んだ講座の開催などで良いと思う。教職員だけを対象とすると人数も限られてしまうし啓発活動とするならば、生徒、保護者をまき込んだ講座、講演等の開催回数などでも評価できるのではないかと。 <基本目標Ⅳの総評> ・冊子などの配布の代わりにアプリで動画や漫画を使って配布するなどの対応も検討していただきたい。 ・幅広い年齢層に関わる事業であるため、柔軟な視点から目的を見直して、コロナ禍にあっても、収束しても様々な人が理解を深められるような方策を検討していただきたい。</p>									